

笑顔いっぱい

秋号
(第57号)

発行日/平成30年10月10日

発行・編集

福島生協病院広報委員会
広島市西区福島町1丁目24番7号
TEL 082-292-3171 (代)

ホームページアドレス

<http://www.hch.coop/fukushima/>

2018西日本豪雨災害 復興支援行動について

福島生協病院 事務次長 西田 飛龍

2018年7月6日(金)夜、大雨警報・洪水警報が出されていた広島県全域において、大雨による土砂崩れが発生しました。福島生協病院でも7/6(金)の午前中に洪水警報が出た時点で災害対策本部を設置し、災害に対する準備を行いました。広島中央保健生活協同組合でも翌7/7(土)には災害対策本部を設置し法人規模での災害対策準備を始めました。福島生協病院は医療福祉生協の事業所ですので、職員や建物等の被害状況確認



と共に組合員への電話かけや訪問で安否確認を行いました。幸いにも職員及びその家族や組合員に人的被害はありませんでしたが、被災地の被害状況は甚大で、復興までに相当な日数を要する事が予想されました。

7/14より、事業所加盟している全日本民医連による坂町小屋浦への被災地ボランティア活動へ病院職員を中心に参加しています。主に小屋浦4丁目に入っのボランティア活動を行っていますが、この小屋浦は発災後1週間、どこからも救助支援の手が届かず、初めて外部からの支援として我々がいった地域となります。この地域の流出土砂量は大量で、生活再建までの道のりは長くかかると感じています。また、日本医療福祉生活協同組合連合会の行動にも参加し、安芸区ボランティアセンターへの看護師派遣を行っています。地域を巡回して地域の方々やボランティアの方へ声掛けなど行いながら、泥だしの作業に入ったりしています。

当法人からは8月末現在で、小屋浦の行動へ延べ107名、安芸区への看護師派遣は6名参加しています。微力ではありますが、今後も法人として出来る限りの支援を行っていきたいと思います。

この度の豪雨災害で犠牲になられた方のご冥福をお祈りすると同時に、被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。



骨粗しょう症 院内学習講演会

福島生協病院 整形外科部長 杉本 清

今年7月20日 病院内で外部講師（沖本 信和先生＝沖本クリニック院長）をお招きして 職員を中心とした学習会をおこないました。病院外からの医師にも複数ご参加いただきました。テーマは骨粗しょう症であります。沖田先生は全国で骨粗鬆症についての講演活動をされている有名な先生です。臨床での活躍の現場は呉を中心とした地域とのことです。

- ①骨粗しょう症を背景とする骨折、とくに背骨の骨折や股関節部の骨折は寿命を縮める恐ろしい骨折であり、その骨折後の死亡率たるや 乳がんの死亡率にも匹敵するほどのものであること。今元気そうにしている若い人々（看護師さん達のこと）にむけて、全然他人事ではなくて 女性の生涯の中50%以上の確率で骨折に巻き込まれる事実があること
- ②Stop at oneといひまして 一回骨折したら それ以上の骨折をさせないための二次予防の取り組みがとりわけ重要であり、かつ治療効果も高いこと。それは心臓発作を一度おこしたら二度目を起こさせないような対応と同じように重要であると。
- ③骨粗しょう症（予防含む）への対応は医師や看護師だけでなく、栄養学的観点 運動学的観点 保健衛生にかかわる実によくの人たち（職種）の関わりが大切（リエゾン サービス）ということが強調された。とくに歯科との連携は重要で 歯科から気づく骨粗しょう症というのもよくあること。日常的なやりとりが重要であること。
- ④さまざまな骨粗しょう症治療薬があるが、それらは有効であるものの、いくつかの薬には大変注意しなければいけない点があることを力説された。

以上のことを たくさんのスライドを使ってわかりやすく楽しくご講演いただきました。

質疑応答もありまして、わたしの質問は 全身を日焼け防止で隠しているひと（女性）は 内



因性のビタミンD欠乏となってしまうと、彼女たちは将来の骨粗しょう症予備軍ではないでしょうか？でありました。

今後の当院では 骨粗しょう症の概念を広め、歯科連携を強め、診断や薬物治療の理論化と標準化をすすめていくことが必要であると 感じました。いっそう勉強していくことが求められています。

福島生協病院と平和の歩み ～73回目の8月6日を迎えて～

広島中央保健生活協同組合 社保平和委員会 事務局 門田 美穂

1945年8月6日に原爆が投下されてから73回目の夏を迎えました。福島生協病院を中心として、広島中央保健生協の社保平和委員会は毎年8.6実行委員会を設置して慰霊の日を迎える準備をします。忘れていた訳ではないけれど、仕事や生活のなかに埋もれさせている平和を考えることを、この一時に思い出して確認する…そして、あらためて自分たちが守り伝えていくことを約束します。

実行委員会の期間中

7月27日火曜日には、病院前の緑地帯でフリーマーケットを開催しました。患者さまや地域の方、職員も一緒にたくさんのお客様でにぎわいました。7月17日火曜日から4日間、待合の患者さまに、職員が被爆者国際署名への協力をお願いしました。8月5日には、原水爆世界大会国際会議で藤原秀文理事長が、被爆者がかかえる苦しみと放射能の影響を、被爆者医療に関わる医師の立場から発言され、世界各国の参加者から大きな共感と賛同を得ました。



そして8月6日の朝、200名以上の職員が参列してセレモニーが行われました。福島生協病院前慰霊碑で行われるセレモニーが、いつから始まったのかはわかりません。資料もなく、長く務める職員も毎年の行事と受け止めています。OB職員のかすかな記憶では、当時の青年職員たちが、福島生協病院の設立された歴史的背景を知り、自主的にはじめたようです。黙祷を捧げ願を込めた風船を飛ばしていたこともあったとか。その後、環境保護の理由から風船は中止されましたが、セレモニーは途絶えることなく続いています。今年は、「青い空」「折鶴」「原爆許すまじ」のギターに合わせて始まるセレモニーは、8:15に黙祷後、北口病院長に平和についてのお話を聴きます。短い時間ですが大切な祈りの時間です。

8月6日の午後には、学習講演をおこないました。今年は“権力者＝ライオン、憲法＝檻”で現憲法をわかりやすく解説した「檻の中のライオン」の著者で弁護士の椋大樹氏を招いて、日本国憲法を日常に近づけられるような講演いただきました。2019年度からはじまる中学校の道徳の内容にも触れ、とても興味深いお話がうかがえました。

患者や利用者を守ることに根幹には平和があることを、これからも継承していきたいと思えます。



豪雨災害支援活動報告会

広島中央保健生協災害対策本部発

9月14日（金）に、福島生協病院8階会議室で、当生協災害対策本部主催「西日本豪雨災害 支援活動報告会」が開催され、30名の職員が参加しました。

広島中央保健生協の専務理事が司会、生協本部の事務局長が被害の状況、当院から事務次長が当生協の取り組んだ支援活動の概要を報告し、リハビリテーション科の理学療法士、5階病棟の看護主任、医事課の事務次長、生協さえき病院の看護師長、生協歯科の事務長が自分たちの取り組んだ支援活動を報告しました。最後に地域包括ケア部の部長が被災地域組合員訪問について報告しました。

皆さんの共通の思いは、「支援ボランティアに参加して民医連や生協の“絆”を実感した。これからは生活再建の支援にシフトし、社協とも協力して訪問し、ニーズを掘り起こす必要がある」ということでした。



福島地区原爆犠牲者慰霊祭 当日、住民6千人の10%即死75%負傷

7月28日（土）午前、当院前の福島地区原爆犠牲者慰霊碑前で供養の慰霊祭が行われました。

ふくしま文庫有志による朗読を紹介します。

あの日のヒロシマ

その日、天満小学校の三年生の弟と、一年生の弟は学校に行きました。夏休みだけど自習で学校に行っていたように思います。

原爆が落ちた時、二人は運動場において向かい合っていたのか、右半身と左半身を大やけどしてぐちゃぐちゃになりました。

太田川の川土手に家族と一緒に避難しました。

夜明けころ、苦しみ続けて一年生の弟は母親を見て水をちょうだいと言って息絶えました。そして三年の弟は突然軍歌を歌い始めて間もなく死にました。

夜明け前から川土手には、たくさんの兵隊さん達が死体を集めていくつもの山を作り油をかけて焼いていました。二人の弟はそこで焼いてもらいました。半身が形がくずれるように焼かれた二人の弟に号泣した母の姿が忘れられません。



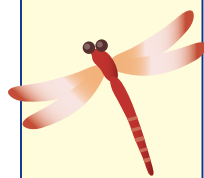
●基本理念●

私たちは、患者さんの立場に立った医療を実践します。

基本方針

1. インフォームド・コンセント(説明と意思決定)を重視し、信頼される医療を提供します。
2. 教育・研修活動をすすめ、医療、看護、接遇の向上につとめます。
3. 地域の人々とともに、医療、福祉、介護のネットワークづくりをすすめます。

編集
委員
通信



- ・山陰の観光列車「天地（あめつち）」号に乗ってきました。安来駅で途中下車して「足立美術館」に。展示物もさることながら、日本庭園の素晴らしさに感動。アメリカの日本庭園の雑誌で、15年連続1位だそうです。(E)
- ・大雨に台風にダメージを受けた広島ですが、カーブ優勝！元気が出ますね。がんばろう広島！(U)
- ・急に寒くなり乾燥してきました。風邪だけではなく、インフルエンザにも気を付けないといけませんね。手洗い・うがいの励行を！(N)
- ・秋です！文化祭、運動会、発表会、バザー&お祭り。。。わが家の秋は行事が目白押しで、今年もまた慌ただしくなりそうです。(S)